

○ 日本側所蔵記録

資料番号	j. II-13	資料名	天和度朝鮮通信使登城行列図屏風
------	----------	-----	-----------------



紙本著色（縦×横）34.3×437.0cm

1682年に来日した第7次の朝鮮通信使の一行が、徳川将軍の住まいである江戸城に入城する様子を描いた図。絵図のみでなく、朝鮮を出発してから江戸までの総距離数と、各寄港地間の海路の行程・距離、そして大坂に到着してから江戸登城に至る陸路の行程を記している。通信使一行の職名・氏名・人数などが詳細に記され、鑑賞用の絵画としてよりも記録画の側面を重視して描かれたものである。

資料番号	J. II-14	資料名	朝鮮人來朝覚 備前御馳走船行烈図
------	----------	-----	------------------



(図版は部分)

卷子装 紙本著色 〔縦×横〕14.5×824.9cm

1747～48年の朝鮮通信使が通信使船で瀬戸内海の日比沖を航行する様子を描いている。岡山藩が動員した大小数百艘の船舶が通信使船を曳いて航行の安全を確保している。

作者は通信使船を見物していた群衆の一人と思われる。通信使船をはじめ、これを曳航する船舶が丹念に記録されるとともに、図中にはこれを見物する人々の驚きや会話なども記されており面白い。